

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
情報エキスパート Computer expert		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(上級情報処理士必修、情報処理士必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
亀田和則	講義棟3F	月曜日	授業中に指示します	
授業の概要				
「コンピュータの構成」と「情報モラルと情報セキュリティ」および「ネットワーク」の基本的なことを学習し、パソコンの購入やインターネットの接続に必要な基礎知識を得る。				
授業の目標				
①コンピュータの5大要素とその役割を説明できるようにする。②BTOを説明できるようにする。 ③ネットワークを使う利点を説明できるようにする。④ネットワーク利用上の注意点を説明できるようにする。 ⑤インターネットへの接続方法を説明できるようにする。⑥セキュリティー対策を説明できるようにする。 ⑦IPアドレスとドメイン管理を説明できるようにする。⑧Webサイトの開設方法を説明できるようにする。 ⑨CMSとクラウドサービスを説明できるようにする。⑩情報モラルを説明できるようにする。				
授業の方法				
①基本的にはプロジェクトを使用した講義である。 ②スケジュールを変更する際には授業にて連絡する。 ③理解度の確認を2回実施する。 ④レポート課題を1つ課す。				
学習の成果(学習成果)				
1) 授業の目標①②を達成すると、与えられた条件に最も適合するコンピュータの機種を決定することができる。 2) 授業の目標③～⑩を達成すると、インターネットを安全に利用するスキルとWEBサイトを構築するスキルが身につく、普段何気なく利用しているネットサービスの要点を述べることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(学習成果、成績評価) アンケート調査			
第2回目	計算機とその歴史(コンピュータは目的を達成するための道具)			
第3回目	コンピュータの5大要素とその役割(CPUの種類、記憶装置の種類)			
第4回目	コンピュータの5大要素とその役割(入力装置)			
第5回目	コンピュータの5大要素とその役割(出力装置)			
第6回目	スキャナとOCR リムーバブルメディアの取り扱い方			

第7回目	最近のコンピュータ（ハードウェア、OS）	理解度の確認1を実施
第8回目	BTO (Build to Order) (課題：与えられた仕様（条件）の下で購入したいパソコンを選定する。次の授業で提出)	
第9回目	ネットワークを使う利点 ネットワーク利用上の注意	
第10回目	インターネットでできること 情報セキュリティー対策	インターネットへの接続方法 パスワードの管理
第11回目	グローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスとドメイン管理 Webサイトを開設するには	
第12回目	現在のインターネット事情（CMSとクラウドサービス） 情報モラル①	
第13回目	情報モラル②	
第14回目	情報モラル③	理解度の確認2を実施
第15回目	授業で学習した内容の復習	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	10%	課題が該当する。満点となる条件は「提出期間内に提出し、与えられた条件を満足している」である。
調査報告書		
小テスト	90%	理解度の確認がが該当する。試験1つあたりの配点は90点/2である。記述問題で満点となる条件は「授業内容を十分に踏まえ、文章が明快である」である。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
プリントを配布する 参考図書：かんたんパソコン入門 改訂5版（出版：技術評論社）（著者：丹羽信夫）		
履修上の留意点・ルール		
2回の遅刻は1回の欠席となる。		